

支援プログラム

作成日 2025 年 2 月 28 日

法人(理念)		「私たちは”今”を大切に自分に感謝し、自信が受けた恩を次に出会う方へ送り、地域の基盤として社会に貢献します						
事業所名		児童発達支援　むすびのば						
支援方針		一人ひとりの人格と人権を尊重し、気持ちに寄りそえる支援						
営業時間		平日	9時00分	～	18時00分	(土、日の営業は行っておりません)	送迎実施の有無	有
		祝日	9時00分	～	17時00分		送迎実施の有無	有
支援計画								
5 領域		ねらい				支援内容		
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善 ○生活リズムや生活習慣の形成 ○基本的生活スキルの獲得				・ 随時健康状態の観察 ・ 食事・昼寝・整容・排泄・準備・片付けなどのサポート ・ カレンダーやスケジュール等視覚的ツールを使用し自律した行動が出来るようサポート ・ スケジュールの作成し見通しを持って行動できるよう支援		
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の向上 ○身体の移動機能の向上 ○保有する感覚の総合的な活用				・ 運動機能や感覚の感じ方（敏感・鈍感）に合わせ、課題の設定を行う。 ・ 感覚過敏に配慮した環境調整（パーテーションや個室など） ・ 身体の中心を意識した遊びを通し、身体のバランスを整える。 ・ さまざまな遊びの中から（粗大運動や微細運動等）、身体の使い方の経験を促す ・ リズムトレーニングの実施（身体の柔軟性や手と足の協調運動の強化）		
	認知・行動	○認知と発達と行動の理解と習得 ○空間・時間、数等の概念形成の習得 ○行動障害の予防と対応				・ 就学に向け、机に向かい学習する習慣の定着 ・ 机上課題を通し、文字や数字等に興味を持てるよう支援する ・ 視覚的ツールを使用し、時間の流れを意識し自主的な行動を促す ・ スケジュールの流れを「選択」・「作成」・「決定」・「実行」することで自律を促す		
	言語・コミュニケーション	○コミュニケーションの基本的能力の向上 ○コミュニケーション手段の選択と活用 ○言語の受容及び表出の取得				・ 自らの気持ちのフィードバックや、情報の整理を一緒に行い、自らの気持ちを相手に伝えられるようサポートする ・ 遊びを通し、他者とのやり取りの経験を促す。また、トラブルなどがあった際介入し解決方法を一緒に見出していく		
	人間関係社会性	○アタッチメント(愛着)の形成と情緒の安定 ○自己理解と行動調整 ○他者との良好な関係構築と社会性の発達形成				・ 達成感や認められる経験（自己有用感）を積み、自信につなげることで心の余裕がもてるようになり、他者を認める力につながるようサポートする ・ 日常生活に必要な身の回りの整理整頓や管理が出来るように、チェックリストなどを用い自己管理能力へ繋げる		

支援内容

家族支援

・保護者の方と随時情報の共有を行い、子育てと一緒にサポートしていく
送迎時、事業所での様子を伝えるとともに、ご家庭での様子や困りごとをうかがう。また、半年に一回以上の計画の見直しやご両親とご自宅での様子や困りごとについて随時面談を行い子育てのサポートを行う
・各ご家庭の事情により、ご希望によりご利用終了後不定期ですが、夕食支援を行う。

地域支援・地域連携

保育園や幼稚園・家庭生活について、保護者の方や保育園・幼稚園・相談員などの関係機関と半年に一回以上の会議を行う。内容について、各生活の見直し及び生活の向上について検討し、担当や会議で共有。

移行支援

保育園や幼稚園・家庭生活を過ごしやすくするため、保護者の方や保育園や幼稚園と半年に一回以上の情報共有を行う。
また、今後の過ごし方（進級や進学）について随時検討を行い、必要に応じ進級、進学先との会議を行情報共有を行う。

職員の質の向上

発達障害研修、身体拘束・虐待防止研修、強度行動障害研修、WISC研修、人間力向上研修、宿泊研修合宿

主な行事等

自然遊び(山、海、川、雪)・餅つき・キャンプ・花火大会・夏祭り・クリスマス会・誕生日会　・県外へのお出かけ　etc